

一中だより

令和8年7月1日

第5号



作成者：荒川区立第一中学校長 小柴 憲一

「家庭の生活」は子どもの成長とともに変わる

家庭の生活ぶりの変容は一様ではありませんが、子どもの成長とともに変わることが多いと思います。もちろん、子どもの成長ぶりや個性もそれぞれ異なるため、すべての家庭の生活ぶりが同じように変わっていくわけではありませんが、傾向として以下のようなことは言えるのではないかと思います。

子どもが乳幼児から小学校低学年のころは、一日一日の子どもの成長が目に見えて分かることが多かったり、子どもが話すようになってからは気付いたこと・感じたこと・今日あった出来事などを子ども自らが表現することが多く、子どもから提供される話題が家庭の会話の多くを占めるようになっていたりすることがあるため、子ども中心の生活になる傾向があります。保護者は就労で忙しかったり、業務でトラブルがあったりするものの、何とか時間の調整を付けて、子ども中心の家庭の時間をつくり、子どもの興味や指向に合わせて外出したり、保護者の親御様の世代なども含めた3世代の交流を楽しんだりすることもあるかと思います。

一方、子どもが小学校に入学すると、子どもがテストの結果を持ち帰ってきたり、「あゆみ」など呼称は異なるものの、いわゆる通知表を学校からもらってきたりするため、学習に関する話題を保護者から投げかけることも出てくることもあるかと思います。ただし、「結果」中心に話すのと、「過程」中心に話すのとでは会話の内容が変わるとともに、低学年のうちには保護者の子どもの学習状況に対する関心の度合いは、子どもの友達などとの人間関係や子どもの成長を含む健康管理などと比較するとシェアはやや少なく、学習に関する話題にかかる時間はさほど多くないかと思います。また、子どもが小学校に通学しているうちは、子どもが今何を学習していて今日の宿題は何か、よく一緒にいる友達是谁か、子どもが今気にしていることは何かなど、多くのことを保護者自身が把握しているので、子どもの変化にも気づきやすく保護者の管理下にある場合が多いと言えます。

それが、子どもが中学校に入学すると、今までの交友関係に変化が起きます。入学直後は部活動に参加していないため下校が早く、帰宅後の子どもたちの地域における遊びなどにも変化が起きてきます。また、部選びについて保護者が相談に乗るなどのことはあっても、入部すると、子どもの放課後の部活動が始まり、1年生の夏休み以降は、子どもによっては部活動が学校生活の中でかなり高い優先度をもつようになっていきます。

そもそも、中学生という時期は、大人との関係よりも、友人関係に強い意味を見いだすようになっていたり、だからこそ仲間同士の評価を強く意識するようになっていたりするようになります。また、親や友達と異なる自分独自の内面があることに気づきはじめるとともに、それがいいことかどうかについても考え込むこともあります。つまり、自分を客観視(メタ認知)するようになり、自分はどのような人間か、どんな特徴があるかに正対し始めるようになる時期です。時に、親に干渉されたくない、親に反抗したくなってしまう反面、不安や悩みを抱えている、いわゆる思春期です。前述した、子ども中心の家庭の時間のようにはなかなかいかず、保護者が自らお子さんの意見や感想を傾聴したり、意思を確認したりする時間を敢えてつくることにより、家庭という場でお子さんが自己の立場や居場所を確認することができるようになります。また、自分はどのような人間かを再認識することにつながることで、子どもにとっては不安や悩みを話しやすくなり、保護者にとっては変化に気づきやすくなるという意味では、保護者からの働きかけはとても重要なことです。

こうして、「家庭の生活」は変容していきますが、このような変容の軌跡を描いていくことにより、

子どもが青年中期、いわゆる高校生くらいになったとき、家庭という安定した基盤の中で、親の保護のもとから、自立した大人となるための最終的な移行時期を迎え、時間の多くを自分のために費やす傍らで、地域の子どもの存在ではなく、自立して家庭に貢献したり、自ら地域の活動に参加したりする青年になりやすくなっていきます。

ぜひ、今後とも、「積極的な家庭の時間」をつくっていただけるよう、保護者の皆様も意図的なお子さんへの関わりをしていただくようお願いいたします。

特に、今月下旬から子どもたちは夏休みに入ります。お子さんによって生活スタイルは異なりますが、1年生は学校に登校するのは部活動や補習の頃くらいになるのではないのでしょうか。2年生はそれに加えて3日間の勤労留学があります。3年生は高校見学をしたり夏期講習を受講したりする子どももいると思います。しかし、今までよりも圧倒的に家庭で過ごす時間が増えてきます。保護者の皆様は、暑さの中の就労などで忙しい日々が続くこととは思いますが、それでも夏季休暇のある事業所は多いと思います。

「積極的な家庭の時間」をつくりやすい環境になるのが、子どもたちの夏休み期間です。夏休みを挟んで中学生は大きく成長しますが、それらを間近で見られるのがご家庭です。いつも顔を合わせているから気づかなかったということにならないよう、些細な変化の積み重ねを、家庭の時間の中で見出してみてください。

そうすることにより、再び家庭の生活が変容していくことに気づかれることと思います。

9月1日【防災の日】に保護者引渡し訓練を実施します

4月の保護者会の際にも口頭でお知らせいたしましたが、今年度より、「災害時に備えた、お子様の保護者への引渡し訓練」を実施いたします。

今年度は、9月1日の防災の日に合わせて、近隣の瑞光小学校と同時実施いたします。

本校と瑞光小学校の引き渡し開始時刻は以下のとおりです。

○第一中学校・・・11:15より

○瑞光小学校・・・11:30より

本校ではこれまで実施してこなかったため、教職員にとっても初めてのことになります。マニュアルはございますが、その通りに行かないのが現実で、保護者の皆様にもお待たせすることになってしまったり、お名前をお伺いしたりなど失礼なことも多々あるかと思いますが、教職員にとっての訓練でもあるとご理解いただければと思います。

この訓練をしておいてこそ、本当に有事の際に、なんとか保護者の方にお子様を安全に引き渡すことができるようになって考えております。

保護者の皆様におかれましては、お仕事の都合等、お忙しいとは思いますが、「大勢の保護者の方が来て、ご案内するのが大変だった。」「どの子どもの保護者なのか分からず、被災している状況で確実に引き渡せるかどうか不安だ。」などと、教職員自身が反省できるような訓練にしたいと思いますので、ご協力賜りますよう、よろしくお願いいたします。

お知らせ

- 第77回東京都中学校地域別陸上競技大会「男子東部1年 走幅跳」の部で以下の成績を収めました。

第6位 寺林 颯杜 記録:4m53(都大会出場)

- 第11回足立フレンドリーナイター陸上競技大会において、以下の成績を収めました。

男子中学共通砲丸投 第3位 河村 航 記録:6m40

男子中学共通走幅跳 第6位 西田 悠真 記録:4m81

男子中学共通走幅跳 第7位 寺林 颯杜 記録:4m65

男子中学共通4×100mR 第4位 岩田 凌駕・西田 悠真・西村 陽輝・田村 正輝
記録:49秒67

男子中学共通4×100mR 第5位 園部 矢紘・寺林 颯杜・二反田 颯真・遠藤 智喜
記録:52秒78